

教育委員会にかかる 一連の不祥事対応

日常の行動の変化 ・ 仕組み、制度の変更

現状を見つめ、考え続けた上で、意識を変えて、そして行動・仕組みを変える
【プロアクティブの視点】（未然防止）

～主な観点～

意識改革

マネジメント

人事異動

習慣・風土

教職員の働き方

教員とともに考え、実効性のある取組を実施

様々な取組を複合的に実施し、不祥事の根絶を図る

不祥事根絶に向けた取組のポイント

意識改革 ・ マネジメント ・ 習慣風土

- 全ての教職員の「意識を改める」ことを念頭に、不祥事案を起こさないためのマインド・セットを実施
 - ➡ 教員の特性や陥りやすい傾向、学校固有の習慣風土等を客観的に整理・可視化する
 - ➡ これまでの不祥事案を参考にした具体的事例を取り上げ、「未然防止」の観点から、自身の考え方や行動のあるべき姿を見つめ直す
 - ➡ 実際に被害にあった方々の声を集め、当事者の気持ちを自分事として捉える など
- 教員が一人で悩みを抱えることがないよう、学校以外の相談窓口を示し、安心して相談できる環境を醸成
- 意識を改める取組を着実に進めるため、取組の実施状況を確認できる仕組みも併せて構築

(作成主体) 校園長の代表、大学教授等の外部有識者、教育委員会事務局職員

(作成時期) 令和5年度中 (令和6年2月頃)

人事異動

- 組織を活性化し、円滑な学校運営に資するよう、人事異動を実施

教職員の働き方

- これまで取り組んできた「働き方改革プラン SMILE (Ⅱ)」による取組から一層の改善を図るため、『働きやすく「働きがい」のある学校の実現～これまでの「当たり前」からの脱却～』による重点的な取組を進める